



「EG おおさか」な
場所やひとをご紹介します

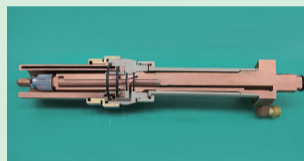
大阪府を中心に「産学公民金」が連携し企業の「発掘と育成」に取り組む、大阪版エコノミックガーデニング「EG おおさか」。EG なキーパーソンや支援機関の取り組みなど、毎月広域な視点でご紹介します。

EG でいこう!

利便性、研究開発スピードの向上「一気通貫の企業支援」へ。

企業を取り巻く競争が厳しさを増すなか、ものづくり企業にとって製品の付加価値化や新製品開発が必要となっている。とはいうものの経営資源には限りがあり、自社の独力で技術課題を解決することはたやすいものではない。そういった場合にぜひ活用して欲しいのが技術に関する相談窓口として、さまざまな支援をおこなっている公設試験研究機関(公設試)だ。今年4月に大阪の公設試として長い歴史をもつ、大阪府立産業技術総合研究所(産技研)と大阪市立工業研究所(市工研)の2つを統合し、地方独立行政法人大阪産業技術研究所が新たに設立された。両研究所は中小企業の研究開発や事業化を支援する公設試として既存の施設を活用し、旧産技研は本部・和泉センター、旧市工研は森之宮センターとして双方に相談や企業などによる利用申請窓口を設置。「知と技術の集積拠点」としての機能を強化した研究所「スーパー公設試」を目指すという。これまでの実績から、和泉センターは機械や金属などの分野、森之宮センターは化学やバイオ分野で強みがあり、研究員1人あたりの特許保有件数や業務収入は全国の公設研究機関の中でともにトップクラスを誇る。また和泉センターでは早くから3Dプリンタを導入しており、金属粉をレーザーで固める技術などには定評がある。加えて10m法による大型電波暗室など公設試では希少な試験装置も備えている。「製品開発・評価が得意な旧産技

研と研究開発を得意とする旧市工研を一体運用することで、企業の開発スピード向上とコスト縮減につながる「一気通貫の支援」ができます(和泉センター業務推進部 部長補佐 松永崇氏)。これまで両研究所それぞれでおこなわれていた相談のワンストップ化、利用申請の一元化など、ユーザー目線でのサービス向上も期待される。施設の充実はもちろんだが、この柔軟な対応も魅力だ。基本、相談は無料。工場に行かないとわからないものに関しては、担当者が現地に赴いて相談できるメニューもあり、こちらも無料だ。いくつかの設備・装置の使用では時間内に終わらない場合、時間延長対応もある。また研究開発だけではなく品質管理の試験もあり、製品化して終わりではなく異物混入や不具合を発見し、改良や改善につなげることもできるなど、企業ごとに様々な活用法がありそうだ。「どうしても敷居が高いと思われるがちですが、相談は無料ですので、まずは気軽にお問い合わせください」



銅はレーザーの反射率が高く3Dプリンタによる積層造形は困難とされてきた。株式会社ダイヘンでは旧産技研との技術相談、共同開発を経て、銅合金3D積層造形を可能とする造形技術を確認。この技術によって生まれたのが、アーク溶接システム「D-Arc」水冷トーチ



地方独立行政法人 本部・和泉センター
大阪産業技術研究所
Osaka Research Institute of Industrial Science and Technology



地方独立行政法人大阪産業技術研究所
http://orist.jp/
本部・和泉センター 和泉市あゆみ野2-7-1
TEL 0725-51-2525 (技術相談)
森之宮センター 大阪府城東区森之宮1-6-50
TEL 06-6963-8181 (技術相談)



広大な敷地に立つ本部・和泉センター。来年3月には国際規格に則った新しい電波暗室も開設される予定

産技研と市工研が
一つになってより便利に

SELECT
at
LIBRARY

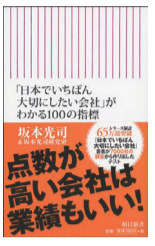
“蔵書数日本一の公立図書館”大阪府立中央図書館と“ビジネス支援、大阪資料・古典籍中心の図書館”大阪府立中之島図書館、合わせて約340万冊の所蔵本の中から、ものづくりに携わる方々に役立つ本を毎月紹介しているこのコーナー。中央図書館からは長期的視点でビジネスを続けていくために必要なことを提示する1冊を、中之島図書館からは長く愛される商品を生み出すためのヒントとなる1冊をご紹介します。巻頭特集と合わせてお読みください!

「いい会社」づくりの指標として

「日本でいちばん大切にしたい会社」がわかる100の指標

著：坂本光司
朝日新聞出版

常に好業績を維持する「いい会社」の経営の考え方・すすめ方には共通項がある!40年以上にわたり、企業の現場で実践されている経営学を調査した著者が至った結論です。本書は、「いい会社」が実行している経営学を、100の指標で、誰でも再現可能なように客観化・計数化して示しています。

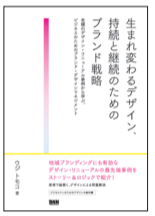


ビジネス継続のためのブランド・デザインマネジメントとは

生まれ変わるデザイン、持続と継続のためのブランド戦略

著：ウジトモコ
ビー・エヌ・エヌ新社

自社製品を末長く販売していきたいと皆さん考えていると思いますが、では、具体的にどのようにすれば実現できるのでしょうか。この本では、福島県にある老舗和菓子店の新製品となるプリンのパッケージデザイン開発支援を例に、ビジネスを持続・継続させていくために必須となるブランド・デザイン戦略についてわかりやすく紐解いています。



司書 泉 有起氏

大阪府立中央図書館
東大阪市荒北

司書 西尾 恵一氏

大阪府立中之島図書館
大阪市北区中之島

MOBIOの常設展示場で会いましょう



モビオカフェミーティング ログ

ものづくり企業の情報交換と交流の場!
来て! 見て! 話して! ゆるくつながりましょう。
「話せばわかる」の精神で、
まずは参加者同士知り合うのが近道。

Blog も見てね

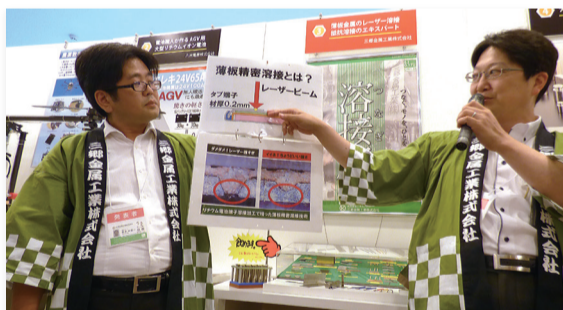
<http://www.m-osaka.com/blog/>



新分野へのチャレンジ! MOBIO健康・医療研究会企画展

常設展示場の企業の中から、健康・医療・介護分野へチャレンジしている5社が取り組んでいる技術のプレゼンをしました。株式会社サトーセンは、組み合わせる素材によって圧力測定やフレキシブル・ヒーターにもなる、伸びても導通があるストレッチャブル基板を紹介。この日の異業種交流会では、線毛、スマート・クロージングなど聞き慣れない言葉も飛び交いました。

6/13 UPDATE



英語や紙芝居でのプレゼンも「OSAKA'sTECHサプライズ! 企画展」

東京の機械要素技術展に共同出展した企業7社が登場した7月のMOBIO-Cafe-Meeting。薄板金属のレーザー溶接・抵抗溶接のエキスパート三郷金属工業株式会社は紙芝居で、0.2mmの薄板同士でも穴なしで溶接する溶接屋の技が、コイン電池リード板接合に適用されていることをプレゼン。他にも、缶コーヒーに0.1mmの板を溶接しても中身が漏れない技術や、0.1mmのSUS板に直径0.2mmのワイヤー溶接の技術も紹介しました。

7/11 UPDATE



寝屋川市モノづくり企業総合展

常設展示場で、企画展「寝屋川市モノづくり企業総合展」を開催し、寝屋川市のモノづくり企業9社が製品・技術のプレゼンをおこないました。展示場のプレゼン前には会議室でセミナーも開催し最新技術の説明がありました。交流会では、名刺交換や情報交換で打ち解け話が弾んだよう。きっと新しい繋がりができたことでしょう。

8/2 UPDATE



新規出展企業3社が自慢の技術を紹介。

展示場にて新規出展した3社がプレゼンを実施。その中の1社、株式会社シズは、電流が流れ焼付できるものなら、形状が複雑なもの、内部でもどこでも塗装可能という製造法特許のポリミド系電着塗装材製造と塗装加工ができます。穴が開いていても詰まらず塗装することができ、膜厚も40μまで可能なため、絶縁用として電子部品や耐熱・耐酸用として海外のトラック排ガスパイプなど用途が広いものです。参加者からは「探していた技術があった」など、嬉しい声が多く寄せられた交流会となりました。

8/23 UPDATE

MOBIO-Cafe-Meetingは毎月開催しています

11月以降の日程・内容については
MOBIOのホームページで要チェック!

▶ <http://www.m-osaka.com/>